

白夜の時期、北極圏では太陽が沈まなくなります。南の地平線ではなく、北の地平線すれすれを、太陽が西から東に「這うように」ゆっくり動いていきます。いわゆる「真夜中の太陽」です。私は実際にノルウェー最北端の「ノールカップ（北岬）」で白夜を体験しました。確かに北の水平線に太陽は沈まず、「夕焼けがそのまま朝焼けになる」という感覚でした。白夜の北極圏では、夜の11時を過ぎても外は明るく、なかなか眠ることもできなくなります。やはり人間は、暗くならないと眠れないのだと実感できました。

今回の動画は、北の地平線の太陽を数時間かけて撮影したものです。ゆっくりと動く太陽と、白夜の静かな風景を、どうぞお楽しみください。

